

《情報提供》

- 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害の概要
- 平成30年8月6日出水（前線）の概要（最上川）

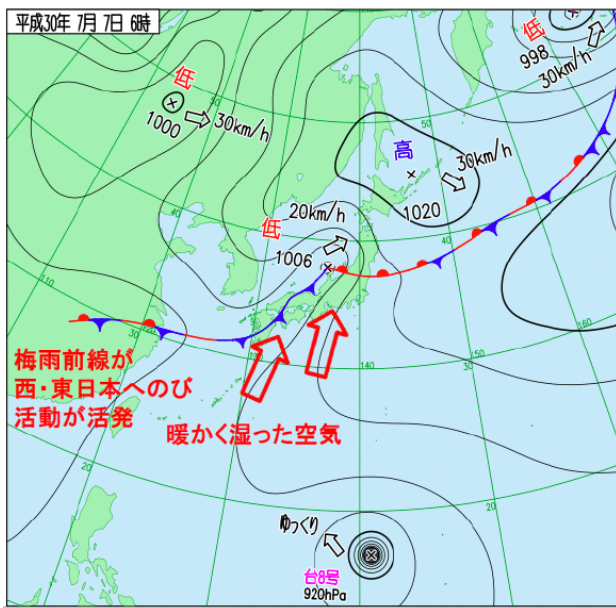
平成30年9月10日
国土交通省 東北地方整備局

平成30年7月豪雨（西日本豪雨） 災害の概要

平成30年7月豪雨による降雨(概要)

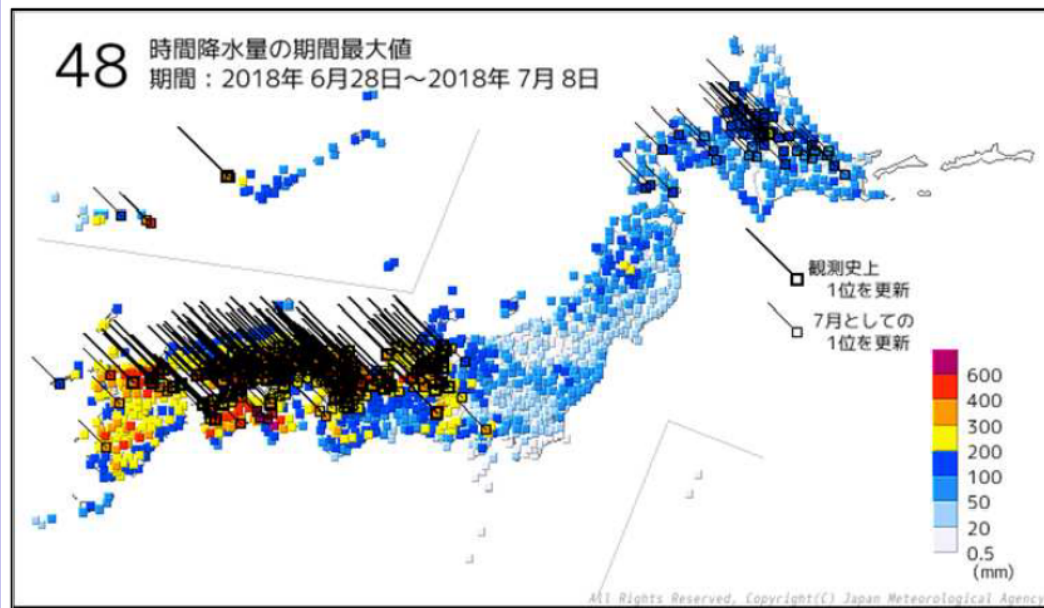
- 6月28日以降、梅雨前線が日本付近に停滞し、また29日には台風第7号が南海上に発生・北上して日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、台風第7号や梅雨前線の影響によって大雨となりやすい状況が続いた。
- このため、**西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨**となり、6月28日～7月8日までの総降水量が四国地方で1,800mm、東海地方で1,200mm、九州北部地方で900mm、近畿地方で600mm、中国地方で500mmを超えるところがあるなど、**7月の月降水量が平年値の4倍となる大雨**となったところがあった。
- **特に長時間の降水量について多くの観測地点で観測史上1位を更新し**、24時間降水量は76地点、48時間降水量は124地点、72時間降水量は122地点で観測史上1位を更新した。 ※全国の気象観測所は約1,300箇所

梅雨前線が停滞、台風から湿った空気が供給



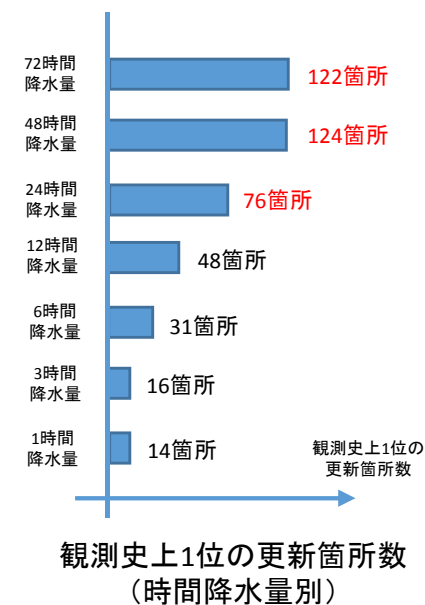
実況天気図(2018年7月7日6時00分時点)

広い範囲で記録的な大雨



48時間降水量の期間最大値(期間2018年6月28日～7月8日)

長期間の大雨

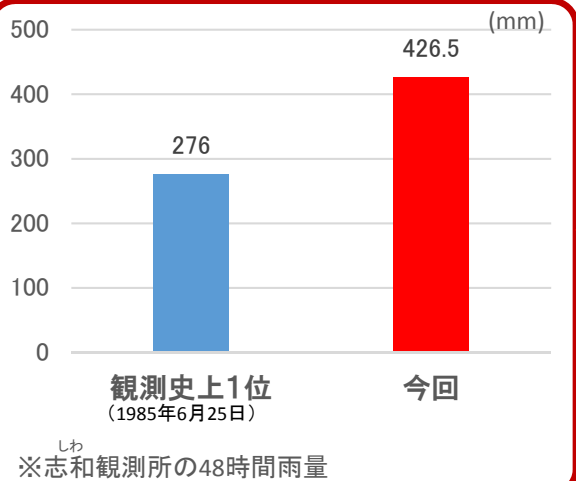


平成30年7月豪雨による降雨(代表箇所)

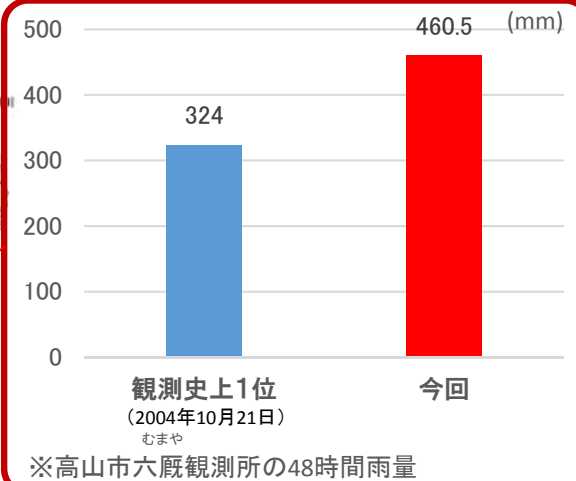
速報値
平成30年7月9日現在

- ^{ひじかわ}肱川では、河川整備基本方針の計画目標に相当する雨量を観測
- ^{たかはしがわ}高梁川では、河川整備基本方針の計画目標を大きく上回る雨量を観測
- 広島県東広島市、岐阜県高山市の観測所では、これまでの観測史上1位の約1.5倍の降水量を記録

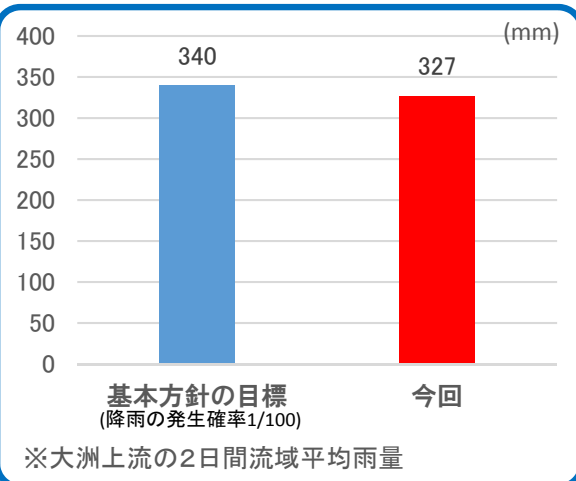
東広島市(広島県)



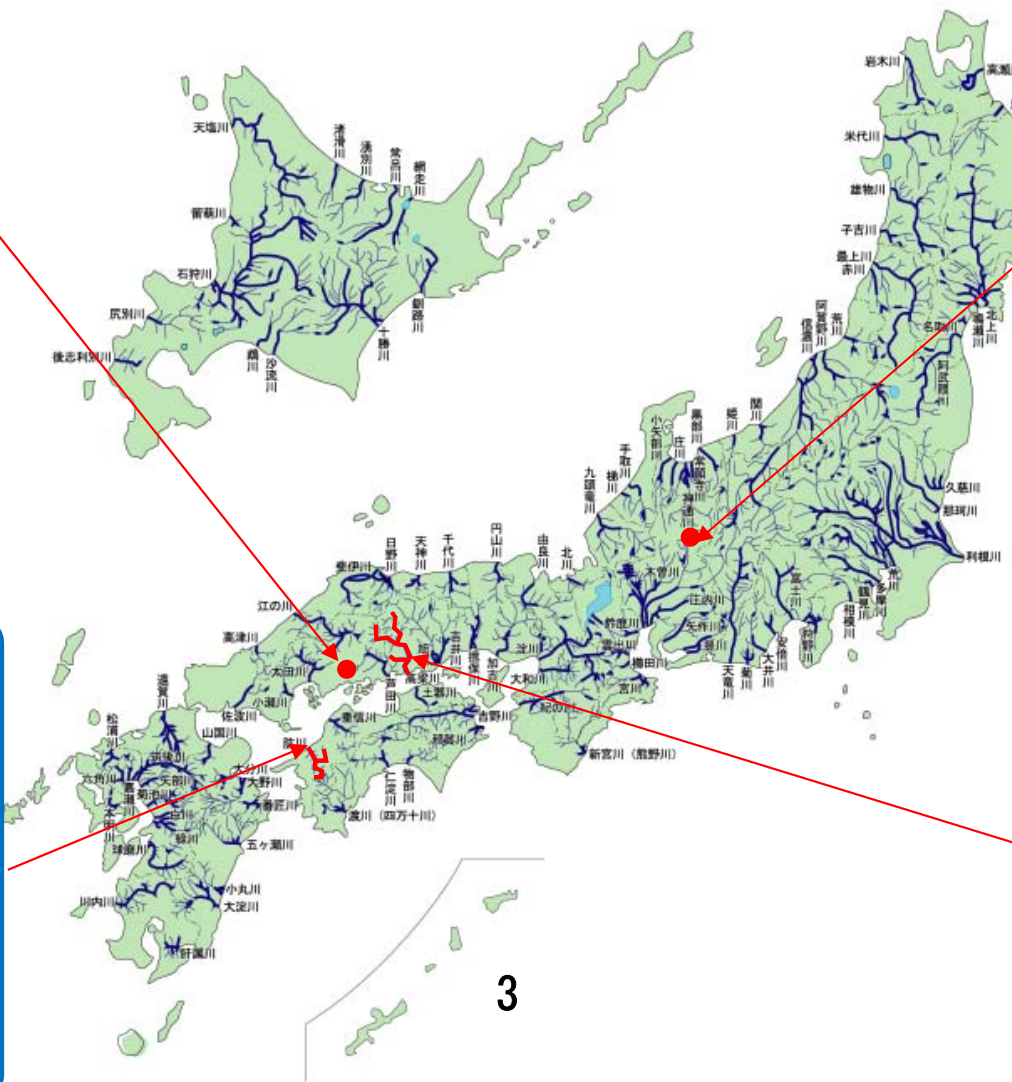
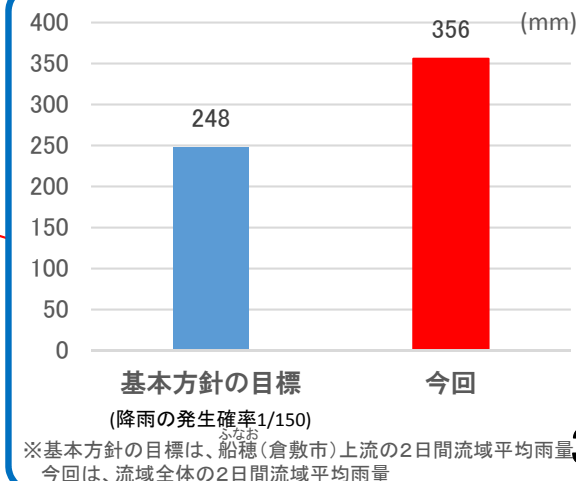
高山市(岐阜県)



肱川(愛媛県)



高梁川(岡山県)



平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況

<人的被害>

- ・死者 221 名(岡山県 61 名、広島県 108 名、愛媛県 27 名ほか)
- ・行方不明者 9 名(岡山県 3 名、広島県 6 名)

<住家被害>

- ・全壊 6,296 棟(岡山県 4,469 棟、広島県 1,074 棟、愛媛県 599 棟ほか)
- ・半壊 10,508 棟(岡山県 3,331 棟、広島県 3,172 棟、
愛媛県 2,985 棟ほか)等

消防庁集計(平成30年9月3日現在)

高梁川水系小田川の破堤



岡山県倉敷市真備町

おだがわ
←小田川

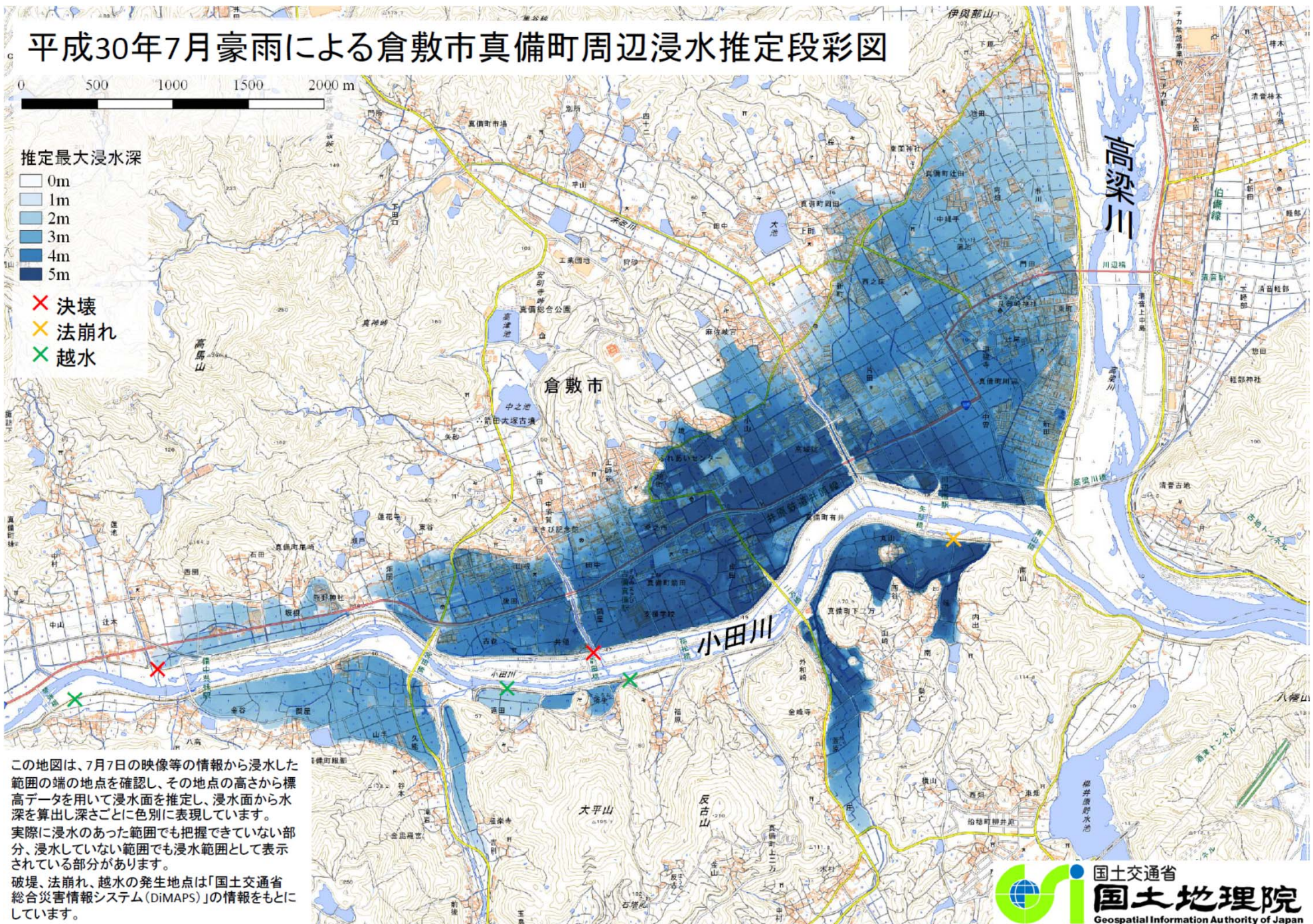
たかはしがわ
←高梁川

かわべし
川辺橋

高梁川水系高梁川：岡山県倉敷市真備町（平成30年7月8日（日）：国土交通省撮影）

高梁川水系小田川の破堤

平成30年7月豪雨による倉敷市真備町周辺浸水推定段彩図

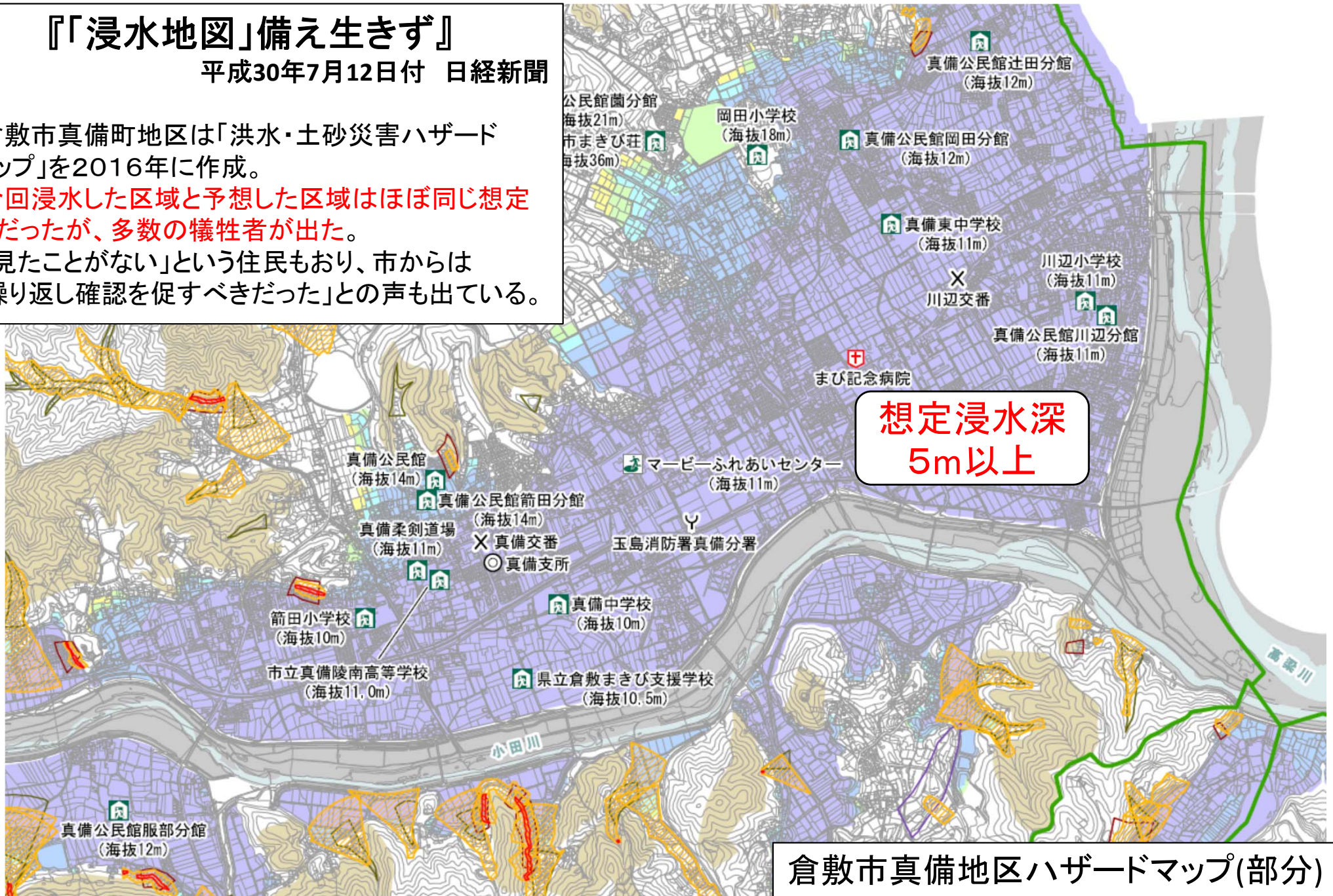


高梁川水系小田川の破堤

『「浸水地図」備え生きず』

平成30年7月12日付 日経新聞

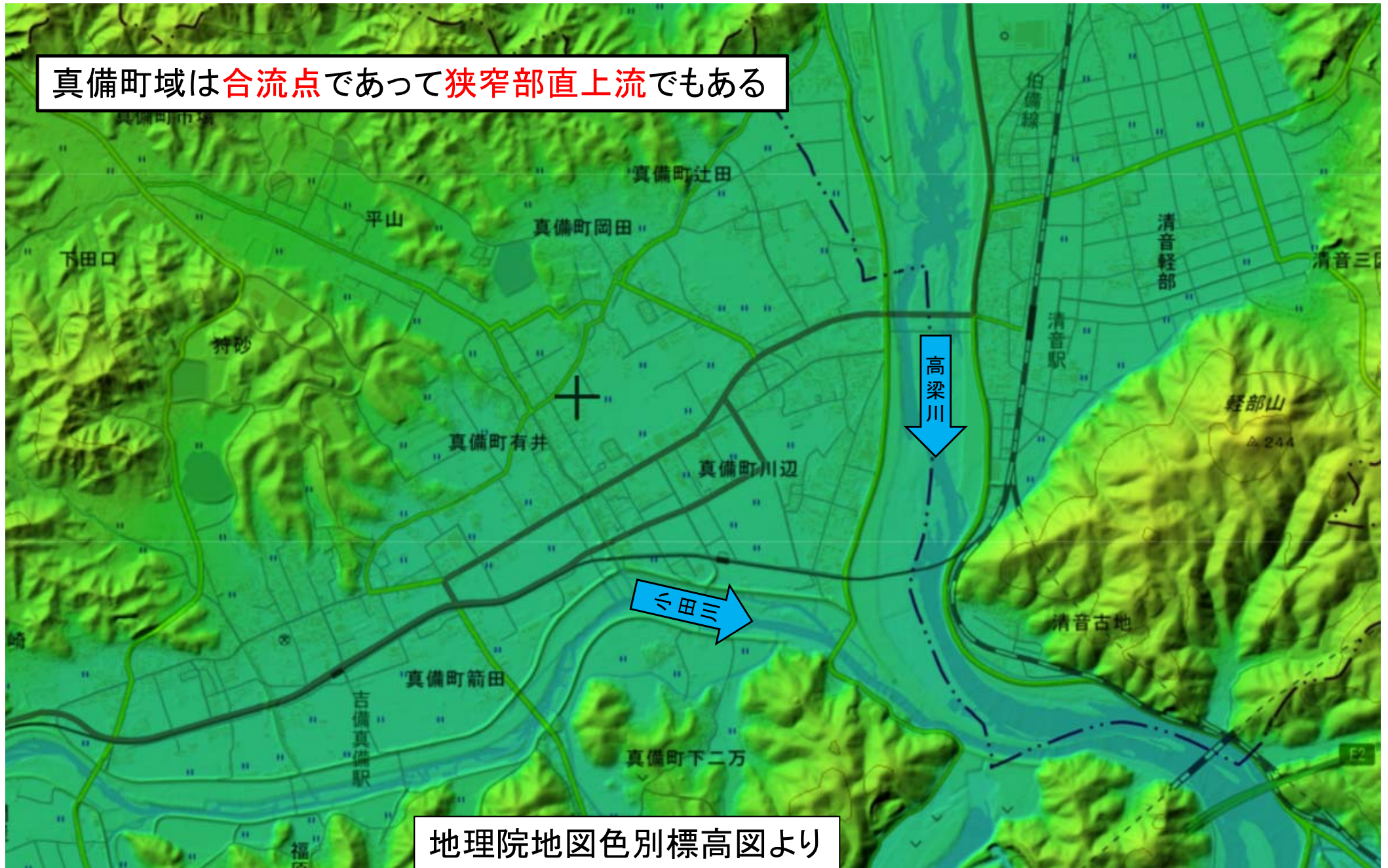
- 倉敷市真備町地区は「洪水・土砂災害ハザードマップ」を2016年に作成。
- 今回浸水した区域と予想した区域はほぼ同じ想定内だったが、多数の犠牲者が出た。
- 「見たことがない」という住民もあり、市からは「繰り返し確認を促すべきだった」との声も出ている。



倉敷市真備地区ハザードマップ(部分)

高梁川水系小田川の破堤

真備町域は合流点であって狭窄部直上流でもある



地理院地図色別標高図より

小田川合流点付替え事業

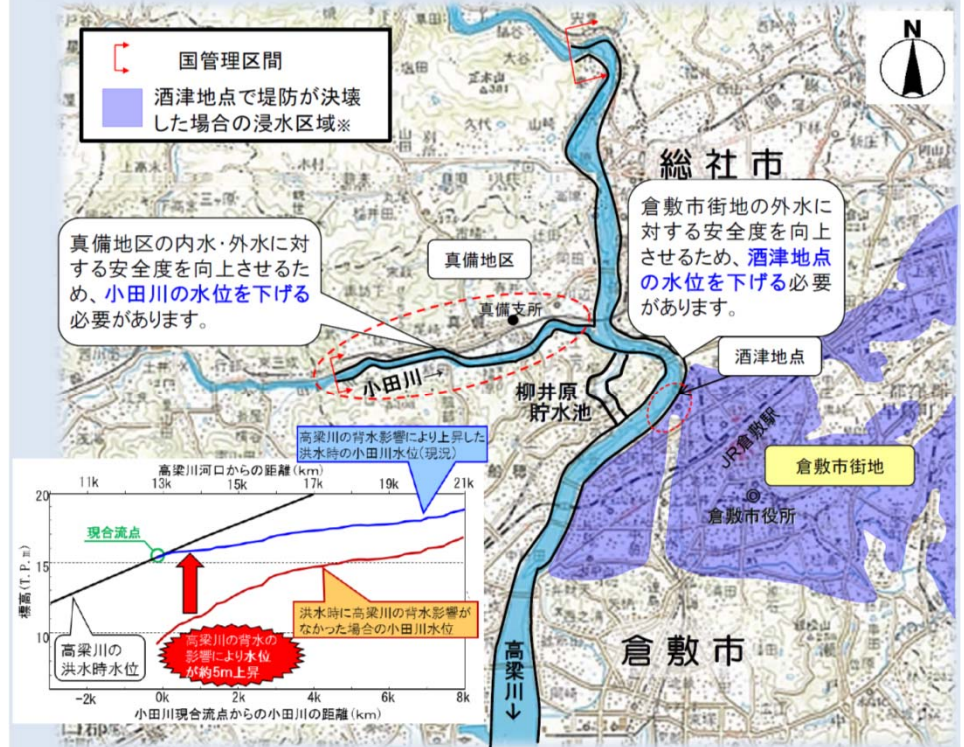
高梁川・小田川の沿川を洪水から守る 「小田川合流点付替え事業」



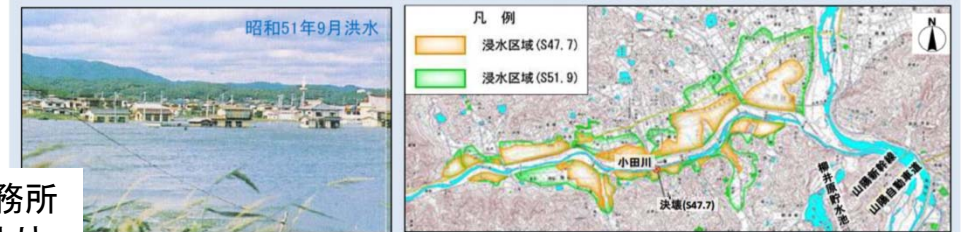
◎小田川合流点付替え事業の必要性

現在の小田川は、洪水時に高梁川の水が小田川に回り込み、小田川の流が阻害され、水位が高くなる特性（背水影響）を持っています。合流点付近に位置する**真備地区**では、洪水時に支川から河川への排水ができず、過去何度も内水被害を受けてきました。そのため、**小田川の水位を下げ、内水被害を防ぐ**必要があります。

また、流域で最も人口・資産が集積する**倉敷市街地**が背後に存在する**酒津地先**の安全度を向上させるため、**酒津地点の水位を下げる**必要があります。



※現時点において、計画規模の洪水が発生し、酒津地点の堤防が決壊した場合に想定される浸水区域を記載しています。詳しくは「国土交通省地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）<http://suiboumap.gsi.go.jp/faq.html>」を参照ください。



小田川の洪水状況 (倉敷市真備地区)



国土交通省 中国地方整備局
岡山河川事務所

岡山河川事務所
パンフレットより

野村ダムにおける異常洪水時防災操作

『ダム放流急増 伝わったか』

平成30年7月11日付 朝日新聞

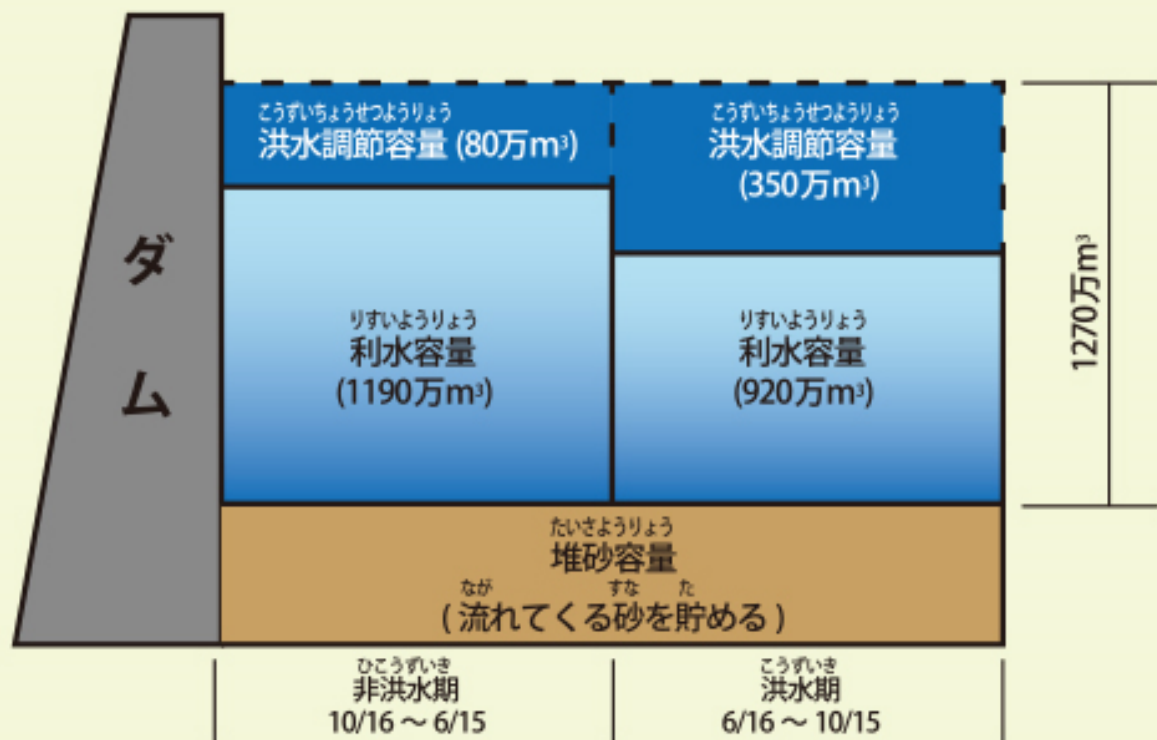
○野村ダム放流増加までの流れ

- 7/7未明 国土交通省野村ダム管理所から西予市にダムの放流量を増やす見込みだと連絡
- 5:10 市が防災無線を通じて避難指示(緊急)を周知
5時30分と6時頃にも
- 5:10 消防団が各戸巡回を開始
- 5:15 ダム管理署が放流の合図のサイレンを鳴らし始める
- 6:20 放流量増大
- 7時前頃? 野村町が浸水、5名死亡

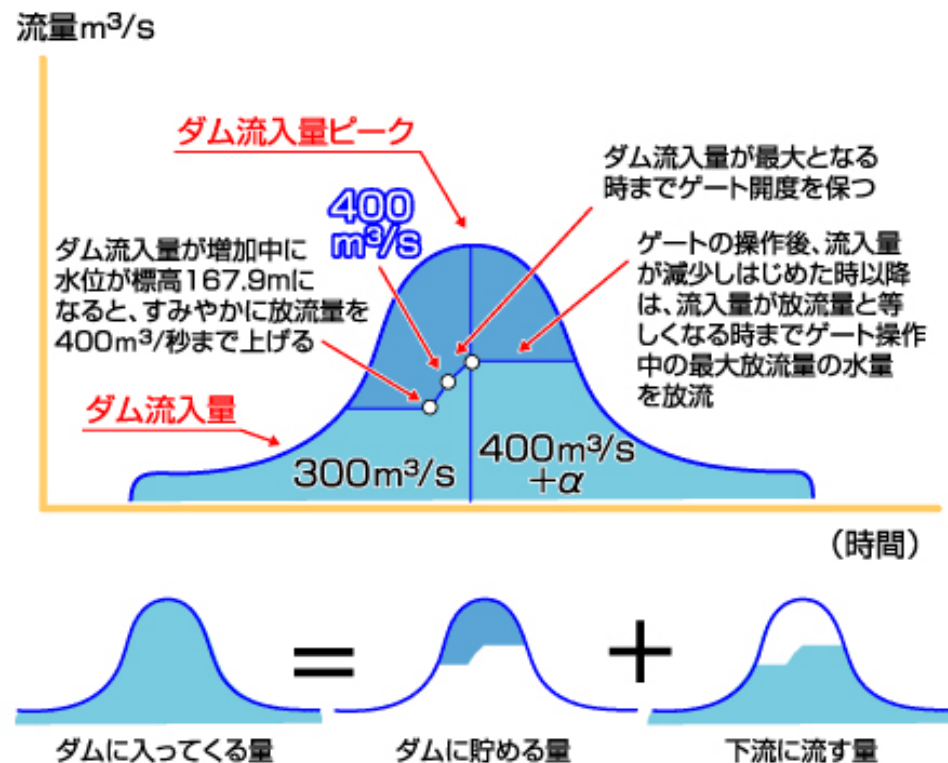


- ①クレストゲート
大きい洪水時の放流用ゲート
- ②コンジットゲート
洪水初期、小さい洪水時の放流用ゲート
- ③選択取水設備
- ④ジェットフローゲート 通常時の放流用ゲート
- ⑤水力発電設備

野村ダムの概要

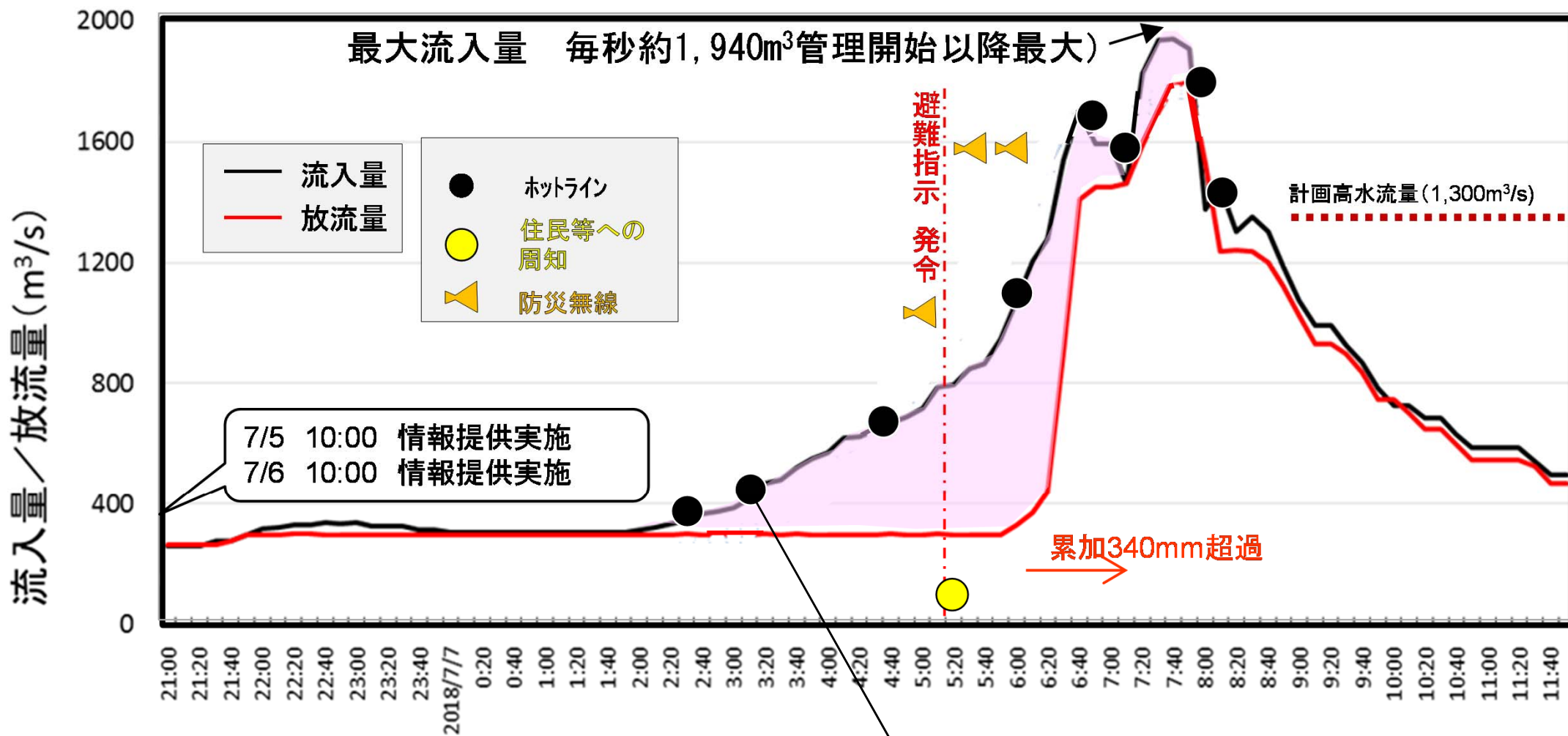


貯水池容量配分図



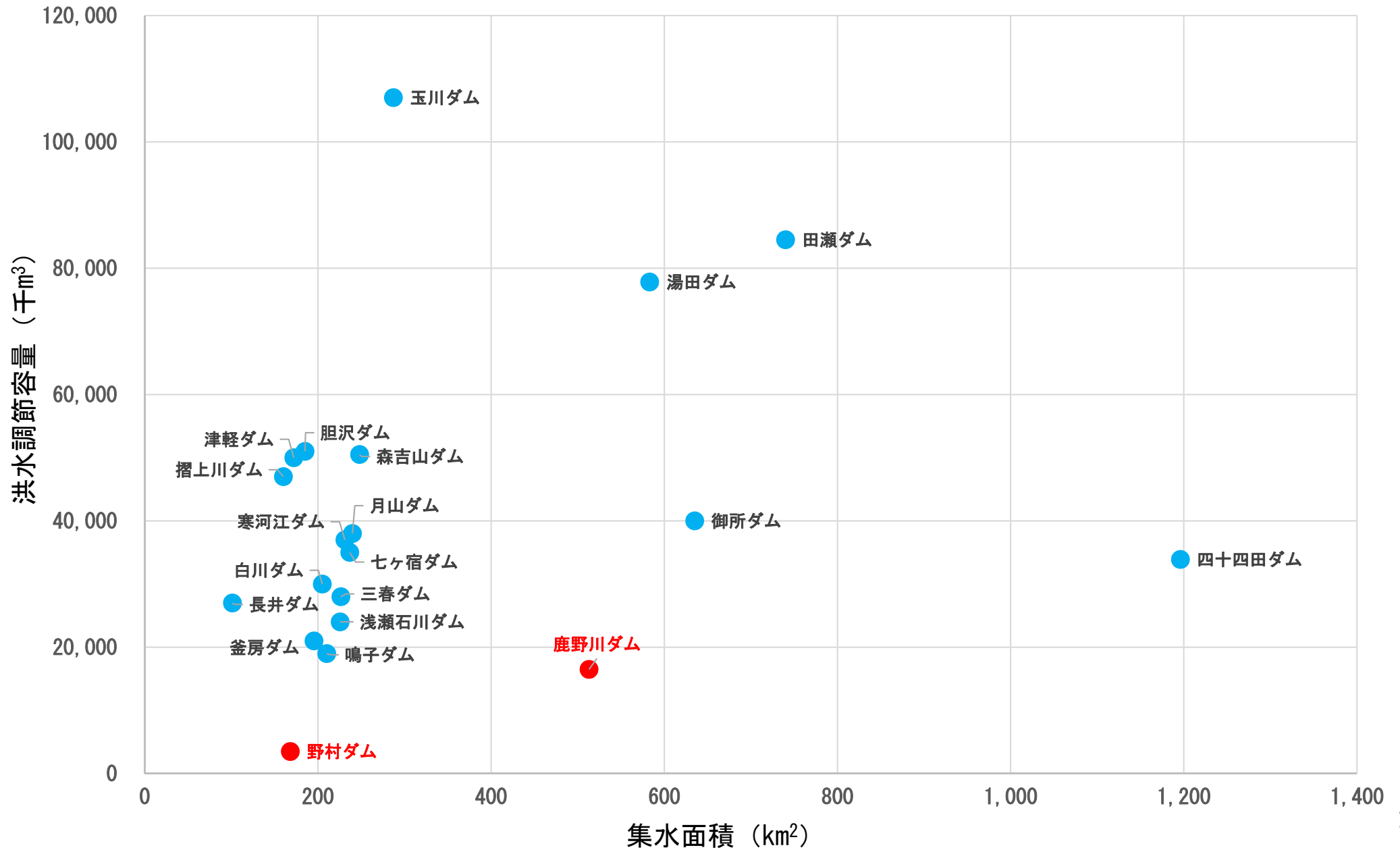
洪水調節模式図

野村ダムにおける異常洪水時防災操作



「6時20分には異常洪水時防災操作を開始する見込み」

東北の直轄ダムと野村ダム・鹿野川ダムとの比較(集水面積・洪水調節容量)



(参考)国土交通省ハザードマップポータルサイト

- 災害時の避難や、事前の防災対策に役立つ情報を公開。
- 全国の防災情報を1つの地図上で重ねて閲覧可能に。

大雨が降ったとき

- ・どこが浸水するおそれがあるか？
- ・どこで土砂災害の危険があるのか？
- ・どこの道路が通行止めになりやすいのか？



地震のとき

- ・どこが揺れやすいのか？
- ・活断層はどこにあるのか？
- ・大規模な盛土造成地はどこなのか？



重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、全国どこでも1つの地図上で重ねて閲覧できます。



1つの地図に重ね合わせて閲覧



わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ



藤沢市津波ハザードマップ

このような防災に関する様々な情報が分かるので、避難計画・防災対策に役立ちます。



国土交通省ハザードマップポータルサイト
<http://disaportal.gsi.go.jp/>

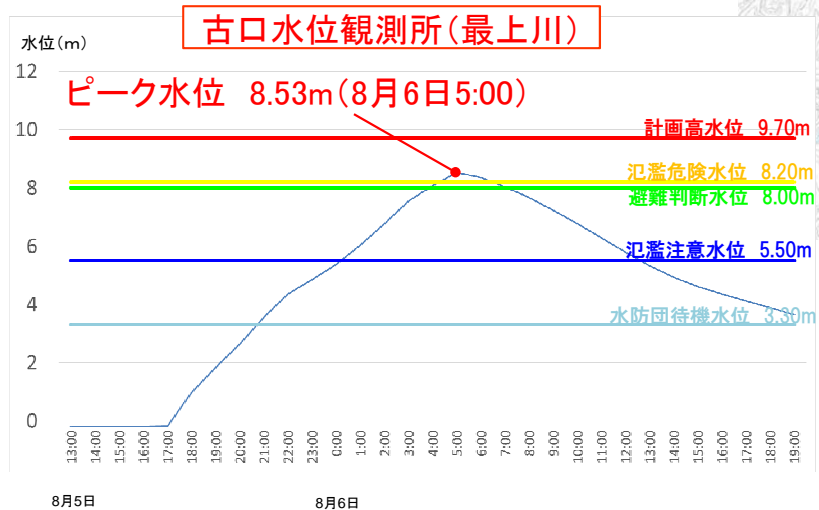
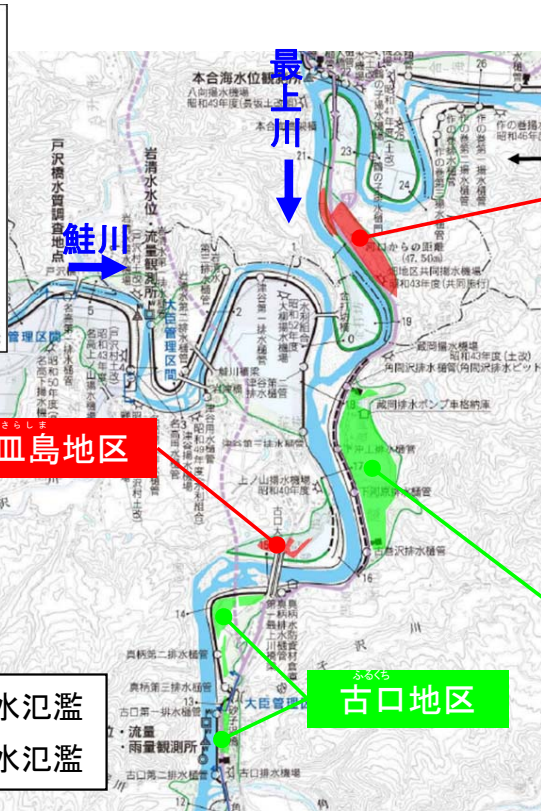
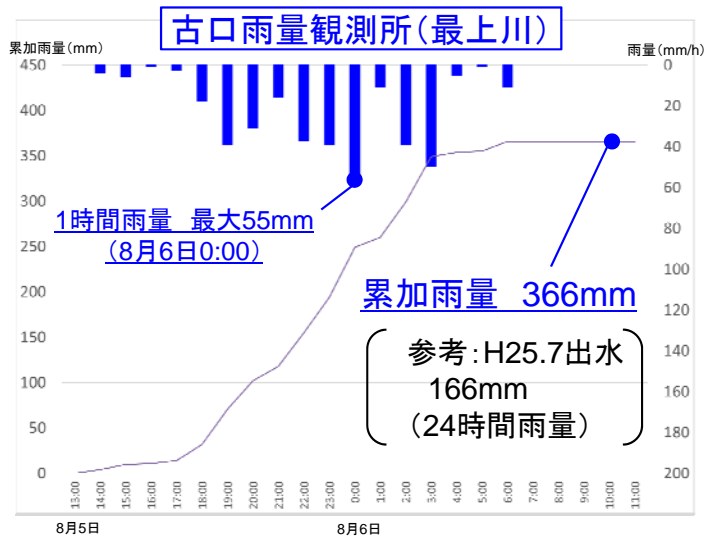
ハザードマップ

検索

平成30年8月6日出水（前線） の概要（最上川）

平成30年8月6日出水(前線)の概要

- 山形県内の古口雨量観測所(国交省)では24時間雨量366mm(既往最大198mm(H2.6))、平根雨量観測所(国交省)では同333mm(既往最大185mm(H25.7))を観測し、既往最大の雨量を記録。
- 最上川の古口水位観測所、下瀬水位観測所で氾濫危険水位を超え、支川鮭川、金山川では既往最大の水位を記録。
- 外水及び内水によって、200戸を超える浸水被害が発生。

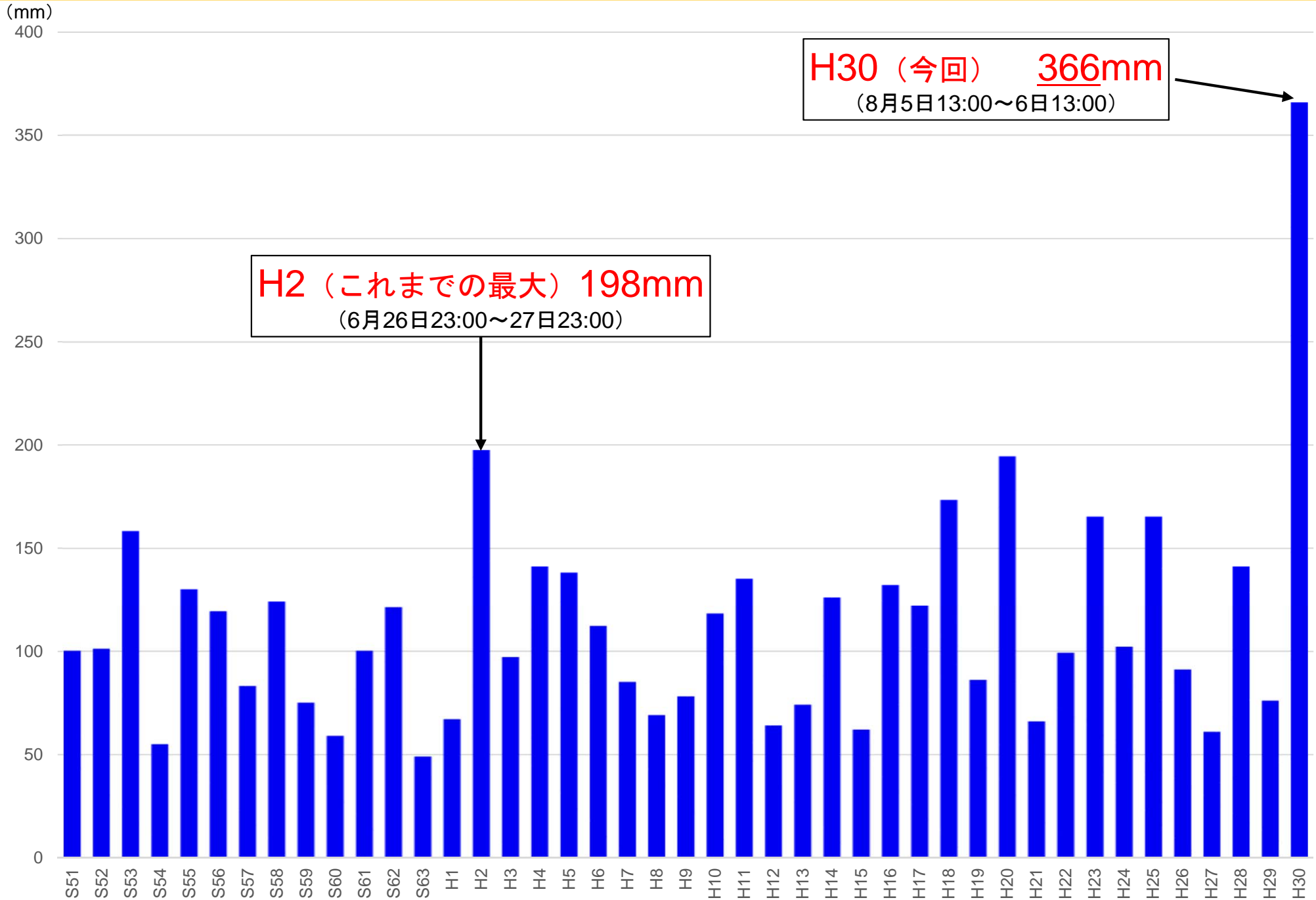


浸水被害(8月8日18時点)

■ 浸水面積 ※速報値		■ 浸水家屋数(住家) ※速報値	
新庄市	0.407km ² (外水0.407km ² , 内水0.000km ²)	新庄市	10戸
戸沢村	0.808km ² (外水0.063km ² , 内水0.745km ²)	戸沢村	215戸
合計	1.215km ²	合計	225戸

※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

ふるくち
古口雨量観測所 24時間雨量【S51～H30】(速報値)



H30 (今回) 366mm
(8月5日13:00～6日13:00)

H2 (これまでの最大) 198mm
(6月26日23:00～27日23:00)

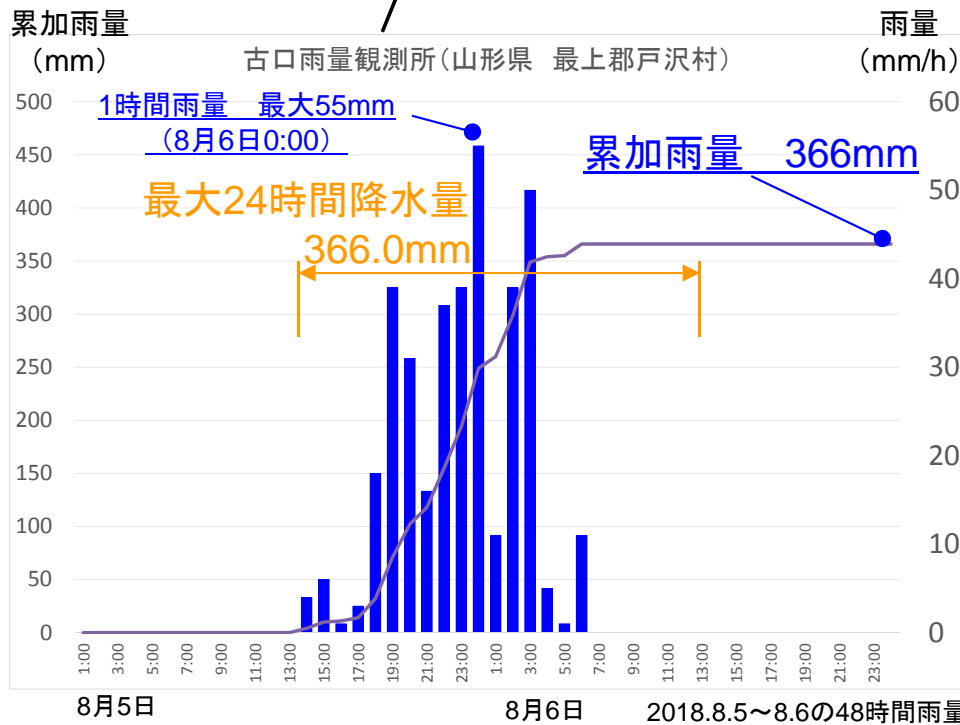
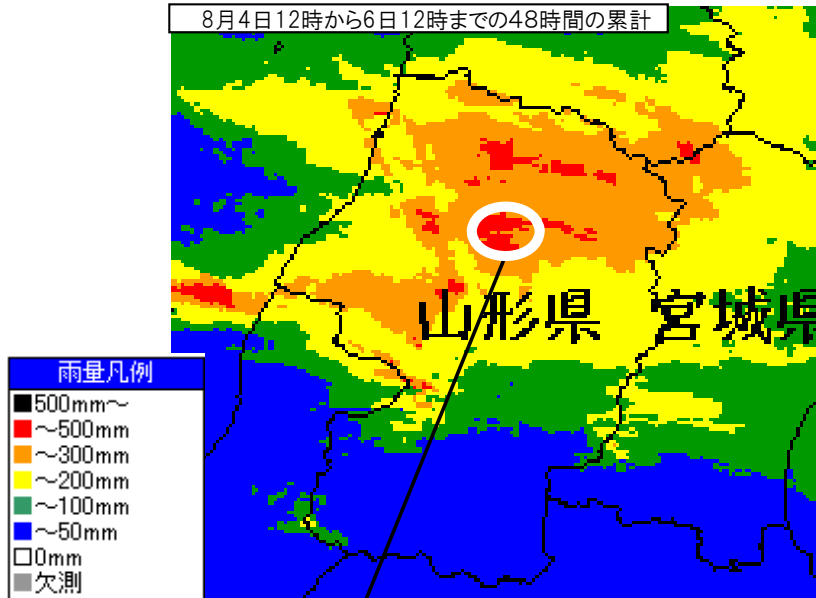
※グラフデータは水文水質データより

平成30年8月出水における降雨量(速報値)

H30.8出水 (山形県 古口観測所)

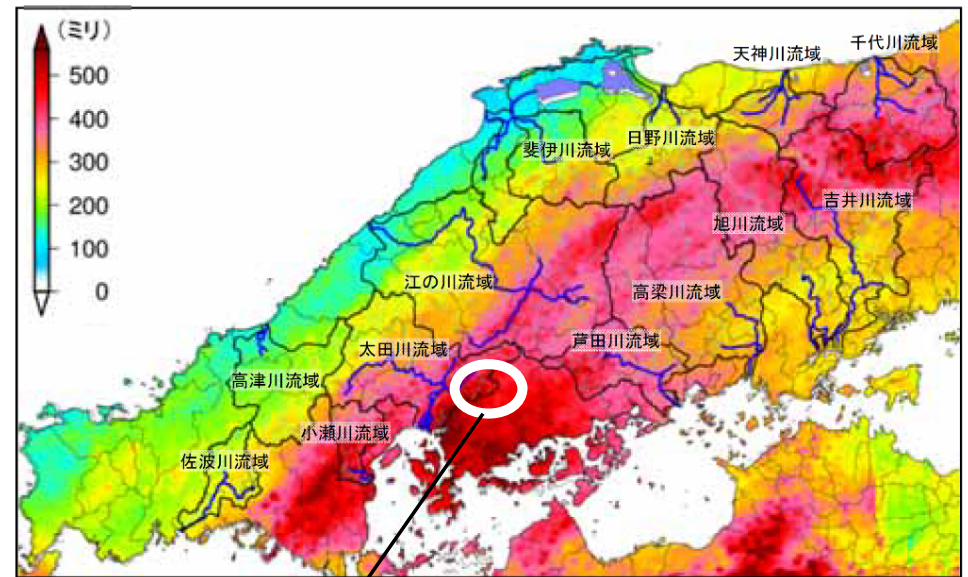
累加雨量レーダ

8月4日12時から6日12時までの48時間の累計



H30.7豪雨 (広島県 志和観測所)

雨量分布図(解析雨量) (7/5 0:00~7/9 9:00)



※広島地方気象台提供資料を一部加工

